

2021年10月7日(木)

MISCA との ZOOM 交流

10月に入りましたが、日中はまだまだ真夏のような日差しですが、夜になってようやく一息つく秋です。

緊急事態宣言が解かれて、初めての MISCA 交流となりました。IFAI の事務局から、ズームミーティングをしているところを見学したいとの話により、お2人が見学と写真を撮りに来られました。お忙しいところ、すぐお帰りかと思っておりましたら、なんと嬉しいことに、最後までお付き合いいただきました。今度こそパブリックビューイングが出来ました。日本側24名(事務局2名)アメリカ側5名(メアリーさんとワーナーさんはお忙しくて不参加)の参加でした。アメリカ側のトピック、日本側のトピックは、以下の通りです。

《トピック》

1.) What is your hometown (or the place you grew up) and a fond memory you have of that place.

2.) What is your favorite words, phrases or sentences?

皆さん、勢ぞろい。初参加の日米協会ミネアポリス支部のロンさんの顔も見えます。



グループ A は、会場で大きなスクリーンを見て、この交流に参加されています。デバイスが重なって、ハウリングのハプニング！これも実験回だから、OK。



グループAでパブリックビューイングに参加された方からは、次のような感想をいただいています。

「このような時期、直接人とお会いして話ができることがこれほど楽しいのか！さらに画面

を通してカールさんとも話せた！私思わず余計なことを言ってしまいました。結構舞い上がっていたのかな。誘って頂きありがとうございました。メチャ良い企画ですね。」

「昨日は楽しく過ごさせて頂きました。色々とお世話になりありがとうございました。皆様のお顔も合わすことが出来、また、解らない事があると尋ねて教えてもらうことも出来て嬉しかったです。また、この様な機会があれば参加させて頂きたいと思います。よろしく申し上げます。」

「今日はお世話になりました。コロナ禍の中役員の皆様いろいろ企画してくださって感謝してます。Zoomは私にはハードルが高いとあきらめていましたが、このような機会を作っていただきありがたかったです。そしてIINの皆様と久しぶりにお会いできたのが何よりうれしいことでした。欲を言えば集まったIINのメンバー同士でも話せる時間が少しでもあれば良いかなと思いました。ありがとうございました。」

グループAでは、カールさんは、“Treat the same way like you wanted to be treated.”と優しい言葉を挙げてくれました。“Time flies. (一日を大切に)”を挙げてくださった方。“Bond” “Tai”(絆)を大切にされている方。病院の先生が机に掲げていらっしゃる言葉をいただき、“Don’t worry.”で、くよくよせず生きていきましょう、という方。このコロナ禍で negative, positive, の意味する

ところを深く考えた方。昔から言い伝えられた”秋ナスを嫁に食わすな“、を講釈をしてくれた方。”自由に生きていきたい。”とされている方。有名なレイチェル・カーソンの言葉“sense of wonder”を挙げた方。

お国自慢は、カールさんは、ポートランドで育ち、子供のころは、野球、ラグビーに夢中になって遊んだそうです。ここで会員から、初恋の話の質問？にもニコニコと答えてくださいました。会員のお国自慢は、続きます。京都で育った方。福井県出身の方は、“福井では、カニは絶品！”とのことでした。このグループ A では、今まで MISCA 交流に参加してらっしゃらない方もカールさんの顔を大きく画面に見ることでご参加いただき、一つのデバイスをみんなで順番に使うパブリックビューイングの会場も盛り上がりました。

グループ B には、シンシアとブライアン夫妻が参加。ブライアンの好きな言葉は、アメリカのドールハウスという TV 番組の“I try to be my best.”でした。アメリカのお孫さんにいつも”I love you, I miss you.”と書いて送る方。”Today is a gift.”という言葉大切にしている方。”It's not too late to learn.”年をとっても、この言葉を頼りに、何かを始める方。コンピュータも英語も“No pain. No gain.”おっしゃる通り！シンシアは Graceful をあげました。Grace には、spiritual, extra kindness という意味があり、ful には、plenty, enough と、いう意味があるとのことでした。シンシアらしい優しい言葉を挙げていました。

お国自慢は、ブライアンから。ブライアンは、ドイツ、英国、スイス、またドイツへ戻り、アメリカに戻って来たり、と次々と少年時代を外国で過ごしました。しかし、一番印象に残っているのは、シカゴで給食にクッキーが出て、友達がいっもおまけに一つ多く入れてくれたこと、その学校を去ってドイツに行ったとき、その友達が、クッキーのレシピを送ってくれたのはいいんだけど、給食用のレシピだったので結局それは使えなかった、という話。シンシアは、ちょうど baby sitter をする頃、国際的な町にいて、ドイツ人、インド人、エジプト人のベビーシッターをしていたころ、エジプト人の女の子のベビーシッターをするのが、その子に一番好かれて楽しかった、という話。ふるさと米沢の春は、サクランボ、リンゴ、フルーツの花が咲き乱れてとても綺麗だそうです。高知の名物は、おいしい炙ったカツオ。二人の子供を産んだシカゴが第二の故郷という方。ふるさとは、“Home is your heart is there.” ”Home is to hang my hat.”だそうです。

グループ C は、キャロルが参加。好きな言葉は、“知足”と”ニーバーの祈り“という方。”努力は報われる”、という方。キャロルは、“Please come and see my

garden.” ”Let’s go somewhere to eat.”と言って、お友達との関係を保つそうです。ご自慢の庭から、きれいなお花を見せてくださいました。“一期一会”を大切に思う方。“今日できることを明日に伸ばすな。”を大事にされている方。

ふるさと自慢は、キャロルから。キャロルのふるさとは、Milwaukee で、海外からの移民の多い土地で各民族のお祭りがあるのが自慢。他の方の自慢のふるさとは、海と山に囲まれた土地で美しい所。ご両親の里で子供のころ水泳や魚釣りをしたことを覚えている方。又、ブドウの産地で、収穫の手伝いをしたことを覚えている方。ここで丁度時間になったようです。

グループ D は、初めての参加のロンさんをお迎えして。何とロンさんは神戸育ち、日本人のおじいちゃんは神戸にいらっしゃるそうです。マハトマ・ガンジーの言葉を紹介してくれました。“明日、死ぬかのように生きよ。” “永遠に生きるかのように学べ。”です。また、お父さんのことばかり”いつも楽しく、いつも笑顔ですごしなさい。”を心がけている方。“Tomorrow is another day”と気分を変えて明るく楽しく過ごそう、という方。ボランティア精神を表している言葉、“かけた情けは水に流せ。受けた恩は石に刻め。”を心に留めている方。“継続は力なり。” “Practice makes perfect”を心に留めている方。お国自慢は、銭湯が家業だったので、子供たちが集まり、路地でかくれんぼなどをして楽しく遊んだ思い出。自然がない市内で育ったので、今は自然豊かな環境でお幸せな方。瀬戸内海に面した気候穏やかで、のんびりと下町で育て、家族そろって初詣に行ったのが懐かしいという方。転勤族だったので、Minneapolis も sweet home town の一つという方。雪深い所でそだったので、雪解けとともに草木が芽吹くのを見ながら、春の訪れを感じていた方。

ご参加の皆さん、ご協力ありがとうございました。次回の MISCA ズーム交流は、11月4日（木）9:30~です。国際交流分科会が何か、プレゼンをしてくれるそうですよ。楽しそうです。奮ってご参加ください。

今回のパブブリックビューイングは取り合えず成功！皆さん、ズームでお困りの方、優しく会員がお教えいたしますので、是非、ご参加ください。当日は、会場も開きます。